



平成 28 年 10 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社ANAP
代表者名 代表取締役社長 家高 利康
(JASDAQ・コード番号 3189)
問合せ先 執行役員 財務経理部長 大矢 正幸
(TEL. 03-5772-2717)

特別損失（減損損失）の計上及び通期業績予想値と実績値の差異 に関するお知らせ

当社は、平成28年8月期第4四半期会計期間（平成28年6月1日～平成28年8月31日）におきまして、下記の通り特別損失（減損損失）の計上を行うとともに、平成27年10月9日に公表いたしました平成28年8月期（平成27年9月1日～平成28年8月31日）の業績予想値と、本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上

当社の保有する事業用資産において、収益性の低下がみられたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失 61 百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、平成 28 年 8 月期第 3 四半期累計期間までに既に計上しております減損損失計上額を含めて第 4 四半期累計期間の減損損失（特別損失）は 142 百万円であります。

2. 業績予想値と実績値の差異について

(1) 平成28年8月期通期業績予想値と実績値との差異（平成27年9月1日～平成28年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,712	百万円 75	百万円 65	百万円 19	円 銭 4.71
今回実績値 (B)	7,078	△60	△68	△20	△4.77
増減額 (B-A)	△634	△135	△134	△39	
増減率 (%)	△8.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年8月期)	8,115	△485	△459	△884	△207.53

(注) 当社は、平成 28 年 9 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 差異理由

売上高につきましては、暖冬の影響により上期は苦戦いたしました。当社商品の需要が活況となる春夏に向け、上期分を回復する予定で、期中は調子を整えたいと思いましたが、特に8月に入り天候不順（台風上陸等）により、想定以上に客足が落ちたことと、通期計画以上に不採算店舗を積極的に退店した影響もあり、当初予想を下回る結果となりました。

営業利益及び経常利益につきましては、販売費及び一般管理費を当初の想定以上に削減しましたが、売上高未達による粗利額減少分をカバーできなかったことにより、当初予想を下回る結果となりました。

当期純利益につきましては、不採算店舗の収益性低下に伴う減損損失 142 百万円を特別損失へ計上した一方、資産の効率化を図る目的で、役員を被保険者とする生命保険の解約及び所有する不動産の売却により、保険解約返戻金 38 百万円、固定資産売却益 137 百万円をそれぞれ、特別利益として計上しましたが、上述のとおり全体的に段階利益が下回った結果、当初予想を下回る結果となりました。

以上